

## みとりの様子を 写真絵本で紹介

大津市のフォトジャーナリスト国森康弘さん

材。家族が大切な人の死と向き合う中で、命の重みを世代を超えて伝えていくドキュメンタリーを物語風に構成した。

(三セ)が、お年寄りの最期を家族がみとる現場取材した写真絵本シリーズ「いのちつぐ 『みとりびと』」(全四巻、農山漁村文化協会)を出版した。温かな人間関係に包まれた「幸せな死」がテーマだ。

国森さんは滋賀県東近

江市の山間部で、自宅で最期を迎えたいと願うお年寄りと、それを支える家族や医師らを長期に取

り、おぼあちゃんの死と向きあう

国森さんは「死は敗北ではなく、本人の思いに寄り添うみとりで、幸せな死が迎えられることを多くの人に知ってもらいたい」と話している。各巻A B判三十二頁、千八百九十円。問い合わせ先は同協会〓電03(35



85) 1141。